

区民委員会報告資料

令和4年3月1日

報告事項件名	頁
1 足立区生涯学習関連施設指定管理者の選定について	2
2 足立区文化・読書・スポーツ分野計画の進捗状況について	3
3 あだちウォーキングチャレンジの取組結果について	5
4 高野小学校跡地スポーツ施設基本計画（案）の策定について	8
5 梅田八丁目複合施設基本計画（案）の策定及び区民アンケートの実施について	9
6 令和4年度北千住都市開発株式会社の事業計画及び収支予算について	別添
7 令和4年度公益財団法人足立区体育協会の事業計画及び収支予算について	別添

(地域のちから推進部)

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和4年3月1日

件 名	足立区生涯学習関連施設指定管理者の選定について																
所 管 部 課 名	地域のちから推進部 生涯学習支援室 生涯学習支援課、スポーツ振興課、中央図書館																
内 容	<p>足立区地域学習センター等の生涯学習関連施設は、指定管理者制度を導入し運営している。令和4年度末で指定期間が満了する3施設について、以下のとおり、公募により指定管理者候補者を選定し、その後区議会に付議することとする。</p> <p>1 対象施設</p> <p>(1) 足立区梅田地域学習センター・足立区梅田体育館・足立区立梅田図書館</p> <p>(2) 足立区花畑地域学習センター・足立区花畑体育館・足立区立花畑図書館</p> <p>(3) 足立区東綾瀬公園温水プール</p> <p>2 指定期間</p> <p>令和5年4月1日から令和10年3月31日までの5年間 ただし、梅田図書館は、(仮称)梅田八丁目複合施設への移転に合わせて指定管理者の公募を実施するため、令和5年4月1日から令和9年3月31日までの4年間となる。</p> <p>3 スケジュール</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">日程 (令和4年)</th> <th>項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3月25日</td> <td>あだち広報に募集記事掲載</td> </tr> <tr> <td>4月 1日</td> <td>区ホームページに募集要項掲載</td> </tr> <tr> <td>4月20日</td> <td>募集説明会</td> </tr> <tr> <td>5月31日</td> <td>応募書類提出締切</td> </tr> <tr> <td>7月中旬～8月上旬</td> <td>選定審査会(書類審査・プレゼンテーション)</td> </tr> <tr> <td>10月中旬</td> <td>指定管理者候補者の選定</td> </tr> <tr> <td>第4回定例会</td> <td>指定管理者指定の議決</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 選定審査会</p> <p>選定審査会委員は、6名(学識経験者3名、区内関係団体代表者2名、区職員1名)を予定し、公正な審査を確保する。</p>	日程 (令和4年)	項目	3月25日	あだち広報に募集記事掲載	4月 1日	区ホームページに募集要項掲載	4月20日	募集説明会	5月31日	応募書類提出締切	7月中旬～8月上旬	選定審査会(書類審査・プレゼンテーション)	10月中旬	指定管理者候補者の選定	第4回定例会	指定管理者指定の議決
日程 (令和4年)	項目																
3月25日	あだち広報に募集記事掲載																
4月 1日	区ホームページに募集要項掲載																
4月20日	募集説明会																
5月31日	応募書類提出締切																
7月中旬～8月上旬	選定審査会(書類審査・プレゼンテーション)																
10月中旬	指定管理者候補者の選定																
第4回定例会	指定管理者指定の議決																
問 題 点 今 後 の 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他自治体で指定管理業務を行っている事業者等にも広く情報提供することで、応募事業者数の増を図り競争性を確保する。 ・ スケジュールに沿って遺漏のないよう選定を進めていく。 																

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和4年3月1日

件 名	足立区文化・読書・スポーツ分野計画の進捗状況について												
所管部課名	地域のちから推進部 生涯学習支援室 地域文化課、生涯学習支援課、3分野連携担当課、スポーツ振興課、中央図書館												
内 容	<p>「足立区文化芸術推進計画」「足立区読書活動推進計画」「足立区運動・スポーツ推進計画」（以下、「3分野計画」）の進捗状況について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 文化・読書・スポーツ推進委員会の助言に対する区の考え方</p> <p>令和3年8月に文化・読書・スポーツ推進委員会（以下、「推進委員会」）より助言が提示されたため、この助言に対する区の考え方をまとめた（詳細は別添資料1のとおり）。</p> <p>(1) 主な内容（一部抜粋）</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 文化芸術分野への助言に対する区の考え方</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">助言</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">助言に対する区の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コロナ禍の影響によって、プラットフォームの役割にも変化が起きている。</td> <td>コロナ禍により対面での交流会の開催が困難な状況であった。今後は新たな生活様式を踏まえ、「つながる」意味や交流会のあり方などを見直していく。</td> </tr> <tr> <td>ホームページとミニコミ紙について、それぞれの役割のバランスと効果を再考し、質の向上を期待したい。</td> <td>ミニコミ紙の質の向上を図るとともに、ホームページで区民に分かりやすい情報発信を行う。各事業の対象年齢等を考慮しバランスを取りながら効果的な媒体で周知していく。</td> </tr> <tr> <td>新たな状況に対応して実施された活動が実績として評価されるような仕組みや、活動指標の見直し、評価基準の検討が必要である。</td> <td>新しい生活様式への対応など、最善を尽くした活動内容を評価できるよう、評価調書の記入要領を具体化するほか、適切な活動指標を選定するなど、中間検証を新しい形で行う。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">イ 読書分野への助言に対する区の考え方</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">助言</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">助言に対する区の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>従来のイベント中心の取り組みに加えて、多様な形での働きかけの模索が必要である。</td> <td>3分野計画のアンケート調査の結果も踏まえ、対面の事業とオンラインのバランスや、対面の事業を中止した場合の代替策のあり方などを検討していく。</td> </tr> </tbody> </table>	助言	助言に対する区の考え方	コロナ禍の影響によって、プラットフォームの役割にも変化が起きている。	コロナ禍により対面での交流会の開催が困難な状況であった。今後は新たな生活様式を踏まえ、「つながる」意味や交流会のあり方などを見直していく。	ホームページとミニコミ紙について、それぞれの役割のバランスと効果を再考し、質の向上を期待したい。	ミニコミ紙の質の向上を図るとともに、ホームページで区民に分かりやすい情報発信を行う。各事業の対象年齢等を考慮しバランスを取りながら効果的な媒体で周知していく。	新たな状況に対応して実施された活動が実績として評価されるような仕組みや、活動指標の見直し、評価基準の検討が必要である。	新しい生活様式への対応など、最善を尽くした活動内容を評価できるよう、評価調書の記入要領を具体化するほか、適切な活動指標を選定するなど、中間検証を新しい形で行う。	助言	助言に対する区の考え方	従来のイベント中心の取り組みに加えて、多様な形での働きかけの模索が必要である。	3分野計画のアンケート調査の結果も踏まえ、対面の事業とオンラインのバランスや、対面の事業を中止した場合の代替策のあり方などを検討していく。
助言	助言に対する区の考え方												
コロナ禍の影響によって、プラットフォームの役割にも変化が起きている。	コロナ禍により対面での交流会の開催が困難な状況であった。今後は新たな生活様式を踏まえ、「つながる」意味や交流会のあり方などを見直していく。												
ホームページとミニコミ紙について、それぞれの役割のバランスと効果を再考し、質の向上を期待したい。	ミニコミ紙の質の向上を図るとともに、ホームページで区民に分かりやすい情報発信を行う。各事業の対象年齢等を考慮しバランスを取りながら効果的な媒体で周知していく。												
新たな状況に対応して実施された活動が実績として評価されるような仕組みや、活動指標の見直し、評価基準の検討が必要である。	新しい生活様式への対応など、最善を尽くした活動内容を評価できるよう、評価調書の記入要領を具体化するほか、適切な活動指標を選定するなど、中間検証を新しい形で行う。												
助言	助言に対する区の考え方												
従来のイベント中心の取り組みに加えて、多様な形での働きかけの模索が必要である。	3分野計画のアンケート調査の結果も踏まえ、対面の事業とオンラインのバランスや、対面の事業を中止した場合の代替策のあり方などを検討していく。												

助言	助言に対する区の考え方
<p>コロナ禍という状況だけではなくデジタルネイティブ世代に対する読書支援活動においては、デジタル環境をどのように利用していくかは特に重要である。</p>	<p>子どもやその周囲の大人たちへ引き続き「あだち電子図書館」の利用促進を図ることで、身近に本に親しむきっかけとしていく。</p>
<p>大人と本との距離を縮めるための活動、大人を対象とした読書支援活動の充実を、多様なアプローチ法を用いて行うことも検討する価値がある。</p>	<p>身近な施設で気軽に親しめる3分野連携事業を引き続き実施し、複合施設内の図書館以外の場所で資料展示や読み語りのイベントを実施するなど、新たなアプローチも検討する。</p>

ウ 運動・スポーツ分野への助言に対する区の考え方

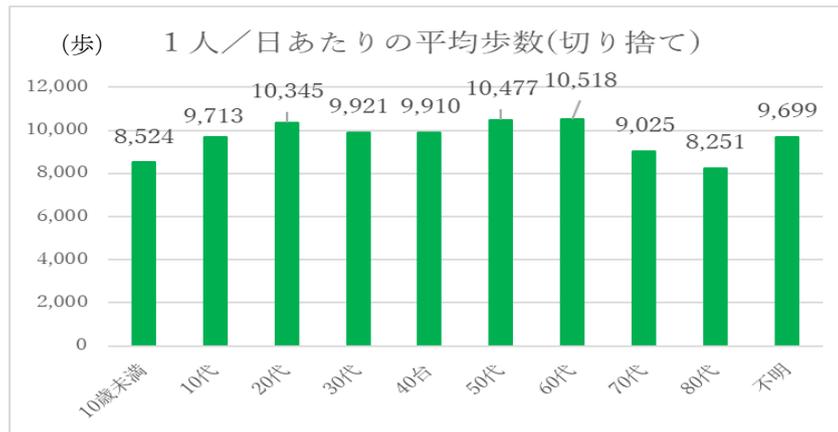
助言	助言に対する区の考え方
<p>まずはどのような環境であれ、「身近な場所」で運動が可能となるような工夫が求められる。極力負担の少ない状況で、いつでも、だれでも運動できるしかけをつくり、区民の運動の「習慣化」を目指したい。</p>	<p>コロナ禍で「きっかけ」や「興味関心」を喚起するイベントが実施できない中、「一人でも」「自宅でも」「身近なところで」できる運動・スポーツの機会の創出やしなかけを工夫した事業を実施していく。</p>
<p>運動・スポーツへの興味を高め、区民の意識に残すためには、まずは、様々な競技シーンのPR動画作成など、視覚的に運動・スポーツの魅力がわかる発信が求められる。</p>	<p>障がいの有無や年齢にかかわらず取り組める競技として、パラリンピックを契機に「みる」から「する」スポーツにつながった「ボッチャ」のように、スポーツのきっかけとなる発信に努めていく。</p>
<p>身近なところで、誰もが参加できるスポーツの実現のためには、障がいの有無、年齢、性別、国籍に関わらず、様々な人々が分け隔てなく生活できる共生社会の視点が欠かせない。</p>	<p>オランダ連携事業で得たスポーツをツールとした共生社会の構築、新しい価値観の普及啓発を引き続き行っていく。</p>

<p>問題点 今後の方針</p>	<p>助言に対する区の考え方を踏まえ、庁内の関係所管で連携しながら、令和4年度に3分野計画の中間検証を行っていく。</p>
----------------------	---

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和4年3月1日

件 名	あだちウォーキングチャレンジの取組結果について																						
所管部課名	地域のちから推進部 生涯学習支援室 スポーツ振興課																						
内 容	<p>1 1月の糖尿病予防月間にあわせて実施した「あだちウォーキングチャレンジ～目指せ一日8000歩～」の取組結果を報告する。</p> <p>1 目的</p> <p>最も身近で、コロナ禍でも年代を問わず行なえる「ウォーキング」をイベント化することで、自身の日常の運動状況を把握、その後の運動の継続を促す。糖尿病予防に取り組んでもらいたい「子育て世代」「働き世代」をターゲットに実施した。</p> <p>2 主な結果</p> <p>(1) 参加人数、参加方法等</p> <p>総報告者数 1,093名 トータル歩数 75,132,269歩</p> <p>① 参加者は実施期間中、チャレンジ期間「1週間」を決める</p> <p>② 歩数計、スマホなどで毎日の歩数を計測、記録する</p> <p>③ 「1週間」が終わったら結果を区担当課に報告</p> <p>④ 報告者の中から抽選で「もっと健康プレゼント」を贈呈した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体組成計（体重だけでなく体脂肪率などを計測） 3名 ・ スマートウォッチ（脈拍、歩数、体温等の計測） 5名 ・ 足立の野菜セット 10名 ・ ウォーキングバック 10名 <div data-bbox="507 1485 1342 1899" style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>参加者数 (人)</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>10歳未満</td><td>30</td></tr> <tr><td>10代</td><td>39</td></tr> <tr><td>20代</td><td>43</td></tr> <tr><td>30代</td><td>125</td></tr> <tr><td>40代</td><td>195</td></tr> <tr><td>50代</td><td>160</td></tr> <tr><td>60代</td><td>115</td></tr> <tr><td>70代</td><td>120</td></tr> <tr><td>80代</td><td>47</td></tr> <tr><td>不明</td><td>219</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>※ 参加者は、ターゲット層の30代から50代が多かった。</p>	年代	参加者数	10歳未満	30	10代	39	20代	43	30代	125	40代	195	50代	160	60代	115	70代	120	80代	47	不明	219
年代	参加者数																						
10歳未満	30																						
10代	39																						
20代	43																						
30代	125																						
40代	195																						
50代	160																						
60代	115																						
70代	120																						
80代	47																						
不明	219																						



※ 平均歩数は、すべての年代で目標の8,000歩を超えた。

(2) 参加しやすい工夫として「歩数計」プレゼント

計測器がない方のために、先着200名に歩数計をプレゼントした。歩数計送付時には、住所地に近い区内ウォーキングマップと継続して取り組めるよう、到達シートを同封。18日間で配布終了した。

(3) 参加者紹介

チャレンジの様子を区HP、SNSで紹介した(新田学園、参加者から寄せられた感想のまとめ、ベルスポ、明治安田生命千住支社花畑営業所)。

(4) 歩数ランキングの発表

週に1回(金曜日朝)報告を集計し、SNS、HPで紹介

- ・ 総歩数
- ・ 合計歩数から換算された歩いた距離
- ・ 年代別ランキング上位10名のニックネームと歩数

【参考】総合ランキング

順位	年齢	総歩数	平均歩数/日
1位	44歳	266,577	38,082
2位	29歳	201,305	28,757
3位	未回答	198,213	28,316

(5) 参加者コメント(671件)

- ・ 子どもが学校からもらったチラシを見て、親子で取り組んだ
- ・ 在宅ワークで運動不足と感じていた。良いきっかけになった
- ・ 自分が思うより歩けていないことを実感し、意欲がわいた
- ・ コロナ禍で外出する機会も減少しており、「歩く」ことをきっかけに、景色や自然の音を楽しんだり、気づかなかった街の風景の発見があった
- ・ 意識的に歩かないと目標値の8,000歩に届かなかった

	<p>3 情報発信方法</p> <p>(1) あだち広報10月25日号への記事掲載</p> <p>(2) チラシ配布 (62,000部) 及びポスター掲示 (270枚)</p> <p>ア 主な配布先</p> <p>ベルクス、ライフ、西新井アリオ、ヨーカドー等区内スーパー43店舗、トヨタモビリティ、区内スポーツジム、元気な職場づくり応援事業認定事業所、区施設、区内小中学校(全児童・生徒) 銭湯、足立成和信用金庫、明治安田生命保険相互会社、区内障がい者福祉施設等</p> <p>(3) 区HP、Facebook(7回)、Twitter(7回)、Aメール(衛生部まちづくり課からのメルマガ各1回)</p> <p>(4) アトリウム展示、地域図書館のテーマ展示(糖尿病月間)</p> <p>(5) PRの効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区内スーパーなどの協力を得て、チラシやポスターが多くの方の目に触れることができたこと、ホームページのフォームと紙による報告を併用したことで、幅広い年代から参加をいただけた。 ・ 会社・団体単位での参加や、企業向けのチラシを見て参加した方も多くターゲット層の「働き世代」「子育て世代」へのアプローチとなった。
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>1 糖尿病月間に合わせて実施したことで、よりターゲット層への健康意識が高まり、参加を促すこととなった。次年度以降も、民間企業との連携により、働く世代に届く情報発信の強化をしていく。</p> <p>2 普段から運動・スポーツに取り組んでいない「無関心層」の参加が多くみられた。今年度チャレンジされた方のステップアップのために、目標歩数を「区政90周年」にちなんだ9,000歩にアップしたり、参加者プレゼントの拡充など、参加者の拡大を図る工夫をしていく。</p>

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和4年3月1日

件 名	高野小学校跡地スポーツ施設基本計画（案）の策定について
所管部課名	地域のちから推進部 生涯学習支援室 スポーツ振興課
内 容	<p>高野小学校跡地スポーツ施設基本計画（案）を策定したので、以下のとおり報告する。</p> <p>1 基本計画（案） 別添資料2のとおり。</p> <p>2 今後のスケジュール</p> <p>(1) 令和4年3月：近隣住民等へ基本計画（案）を説明 (2) 令和4年3月末：基本計画策定 (3) 令和4年度～5年度：設計 (4) 令和6年度～7年度：工事</p>
問 題 点 今後の方針	

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和4年3月1日

件 名	梅田八丁目複合施設基本計画(案)の策定及び区民アンケートの実施について						
所管部課名	地域のちから推進部 生涯学習支援室 中央図書館 地域のちから推進部 住区推進課 政策経営部 あだち未来支援室 協働・協創推進課						
内 容	<p>都営梅田八丁目アパート創出用地に、梅田図書館・子育てサロン関原・NPO活動支援センターを移転整備する梅田八丁目複合施設の基本計画(案)の策定及び区民アンケートの実施について報告する。</p> <p>1 梅田八丁目複合施設基本計画(案)について</p> <p>(1) 基本計画の策定目的 基本構想で定めた複合施設の目指す姿を具現化するための考え方を整理すること。</p> <p>(2) 基本計画(案)の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 複合施設に求められる機能や設備 イ 複合施設の面積や規模 ウ 複合施設の土地利用計画 エ 複合施設の管理運営の考え方 <p>※ 詳細は、別添資料3のとおり。</p> <p>2 区民アンケートの実施状況について</p> <p>(1) 目的 複合施設基本計画(案)の検討状況の概要を示し、検討の方向性や施設が担う機能等への意見を区民から広く聴き取ること。</p> <p>(2) 対象及び実施方法</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">対象</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">実施方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;">全世代の区民</td> <td> ア アンケートフォーム(Googleフォーム)を通じて回答 イ 区役所や区立図書館、NPO活動支援センター等にアンケート用紙を設置し、その場で回答 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">複合施設整備予定地近隣の小中学校(※)の児童・生徒</td> <td>アンケートフォーム(Googleフォーム)を通じて回答</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 複合施設整備予定地近隣の小中学校 小学校：亀田、関原、栗原、島根、梅島、梅島第一、梅島第二 中学校：第四、第七、第九、第十</p>	対象	実施方法	全世代の区民	ア アンケートフォーム(Googleフォーム)を通じて回答 イ 区役所や区立図書館、NPO活動支援センター等にアンケート用紙を設置し、その場で回答	複合施設整備予定地近隣の小中学校(※)の児童・生徒	アンケートフォーム(Googleフォーム)を通じて回答
対象	実施方法						
全世代の区民	ア アンケートフォーム(Googleフォーム)を通じて回答 イ 区役所や区立図書館、NPO活動支援センター等にアンケート用紙を設置し、その場で回答						
複合施設整備予定地近隣の小中学校(※)の児童・生徒	アンケートフォーム(Googleフォーム)を通じて回答						

	<p>(3) 実施期間 令和4年2月下旬～3月中旬頃まで（3週間程度）</p> <p>(4) 主なアンケート項目 ア 回答者の属性 イ 図書館・子育てサロン・NPO活動支援センターについての現在の利用頻度 ウ 新たな複合施設内で利用したい機能や設備</p> <p>(5) 周知方法 ア 区ホームページ、Twitter、Facebook イ 説明用スライド動画の掲載ページのQRコード・URLを記載したチラシの配布やパネルの設置</p> <p>3 今後のスケジュール（予定）</p> <p>(1) 令和4年4月 複合施設基本計画の策定完了を区民委員会に報告</p> <p>(2) 令和4年度 都から創出用地を取得</p> <p>(3) 令和5～6年度 基本設計及び実施設計</p> <p>(4) 令和7～8年度 建築工事</p> <p>(5) 令和9年度 施設開館</p>
<p>問 題 点 今後の方針</p>	<p>1 区民アンケートの結果も参考に、基本計画の完成に向けた最終調整を行う。</p> <p>2 基本計画の策定完了後は、都との用地取得に関する手続きを円滑に進める。</p>